

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	地域で活躍する介護福祉士の役割の明確化とその能力開発に関する実践的研究				
研究組織	代 表 者	所属・職名	短期大学部・社会福祉学科 ・准教授	氏名	奥田 都子
	研究分担者	所属・職名	短期大学部・社会福祉学科 ・教授	氏名	松井 順子
		所属・職名	短期大学部・社会福祉学科 ・准教授	氏名	尾崎 剛志
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	短期大学部・社会福祉学科 ・准教授	氏名	奥田 都子

講演題目
地域福祉における介護福祉士の活動と求められる役割・能力に関する探索的研究
研究の目的、成果及び今後の展望
【研究の背景と目的】 地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域における介護福祉士は、要介護高齢者の生活支援のみならず、様々な場面で地域福祉の推進者としての役割を求められるようになってきているが、地域における介護福祉士の活動の実態や役割・機能等についての学術研究は蓄積が少なく、介護福祉士の地域福祉実践の実態は明らかではない。また地域福祉実践に必要な視点や能力をどのように開発するのか、現行の介護福祉士養成カリキュラムに不足する内容、現場研修やリカレント教育により増強すべき内容についても明確ではない。そこで本研究では、介護福祉士の地域福祉活動に焦点をあて、文献とヒアリング調査による活動事例の収集と分析を通して、介護福祉士による地域福祉活動の実態を把握し、介護福祉士の役割の「見える化」をはかることを目的とする。加えて、地域福祉実践に従事する介護福祉士に期待される役割、必要な能力について明らかにすることを通して、地域福祉支援に必要な能力開発に向けての示唆を得たい。 【研究の成果及び今後の展望】 文献調査の結果、厚労省の『地域における公益的な取組』好事例集（令和4年3月）の360事例中、介護福祉士の関与が明記される活動事例は1件のみであったほか、静岡県内の「社会福祉法人の公益的取組」事例集等においても、介護福祉士の登場は他専門職に比べて少なく、地域福祉活動への関与がほとんど記されていないことが確認できた。この結果から、地域福祉における活動実態を把握するには、介護福祉士会や事業所の地域貢献活動から、活動実態の掘り起こしを行う必要が再確認された。 事業所へのヒアリングの結果、介護福祉士が関わる地域福祉活動の詳細が以下の通り確認できた。 ① 介護福祉士会としての活動：介護福祉専門職として行政の会議への出席・小中学校や高校での講演・認知症の理解に資する講義・介護の相談会 ② 事業所の地域貢献として行う活動：防災・防犯活動、介護予防講座や体操教室の運営、施設の催しへの地域住民の招待・入居者との交流支援、高齢者の居場所への訪問・関係づくり、地域の高齢者支援ボランティアへの支援、小中学生の学習支援、小中学校や高校での講話、移動支援、買い物支援など。 今後、さらに事業所へのヒアリングを重ね、活動実態の掘り起こしを進めるとともに、地域福祉実践に携わる介護福祉士へのインタビュー調査を通して、介護福祉士の果たす役割・必要な能力を検討し、地域における介護福祉士の役割の〈見える化〉を試みるとともに、活動実態がなぜ事例集に表れないのか、可視化の障壁となる要因も探りながら分析・考察を進めていく。